

図書案内

2023年 10月号

おばけ・妖怪

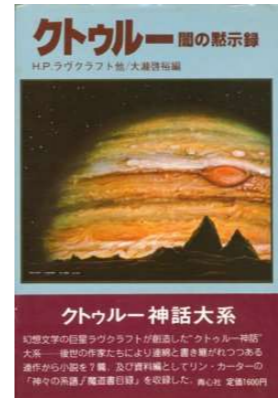
Trick or Treat!! お菓子をくれなきゃいたずらするぞ!! 10月31日はみなさんご存じハロウィンです🎃👻ということで今月のテーマはお化けや妖怪です。一度はそんな不思議な世界に行ってみたくて夢見たあなたへ。怖いけどどこかワクワクする、そんなお話を紹介しました。橋を渡ってスリリングでファンタジーな空間へどうぞいらしてください…

『営繕かるかや怪異譚』 / 小野不由美



叔母から受け継いだ町屋に一人暮らす祥子。まったく使わない奥座敷の襖が、何度閉めても開いている。古色蒼然とした武家屋敷。同居する母親は言う。「屋根裏に誰かいるのよ」。営繕屋は死者の声を聴き、住居の怪異や障りを修繕する。人々のつながる想いに涙する。夢も美しい、どこか懐かしさを感じさせる(そしてちゃんと怖い)物語。

「障りになる疵は障りにならないよう直す、残していい疵はそれ以上傷まないように手当てして残す。—それが仕事なのだ」



『クトゥルー：闇の黙示録』

/H.P.ラヴクラフト他 大滝啓裕・訳

主人公の従兄の家では毎夜異音が聞こえ、原因を探ろうと、従兄の日記を発見する。そこにはあまりにも冒濫的な内容が書かれており…『破風の窓』あなたのそばにある旧く昏い本物の恐怖についての記述の蒐集本です。クトゥルフ神話 TRPG の原作でもあります。あなた自身でその冒濫的な存在を確かめてみてはいかがでしょうか。

「いあ いあ くとうるう ふたぐん！」



『妖怪アパートの幽雅な日常』シリーズ / 香月日輪

この物語は主人公・稲葉タ士が妖怪アパートに引っ越してくるところから始まり、そこに住む風変わりな人々や妖怪、幽霊達との関わりや様々な事件を通して成長していく物語です。またタ士にとっての人生の先輩が語る「名セリフ」もすごく印象的で胸に残ります。今月のテーマは「妖怪・幽霊」ですが怖い話が苦手な人でも楽しめます。あなたも個性豊かな住民たちとの生活に、足を踏み入れてみませんか？

「君の人生は長く 世界は果てしなく広い 肩の力を抜いていこう」



『悪魔』 / 芥川龍之介



ある日「うるがん」は、南蛮寺の門の前で、姫君の乗っている輿の上に1匹の美しい悪魔が座っているのに気付いた。姫君が魅入られてしまったは大変だと思い、十字架を使って悪魔を捕まえ、なぜ輿の上に座っていたのか厳しく問いただす。すると悪魔は葛藤する心を打ち明けて涙を流した。悪魔の矛盾する気持ちがわからないようで、どこか共感する不思議なお話。数分で読み終わってしまうほどの短いこの話であなたの心はどう動くでしょうか。

「墮落させたくないもの程、墮落させたいのです。」

ジャック・オ・ランタン

ハロウィンといえばジャック・オ・ランタンですね！街にあるものはかわいいものが多くなりつつありますよね。この起源はアイルランドとアメリカの二つあるのですが、ここではアイルランドについてお教えしましょう。ジャックというずる賢く悪さばかりする男がいました。ある日、その男のもとへ悪魔が現れました。男は悪知恵を働かせ悪魔に「二度と魂を取らない」という約束をさせました。そして、男が死ぬと生前の悪行によって天国には入れませんでした。仕方なく、地獄へ行こうとするが今度は悪魔が「お前の魂は約束で取れず、地獄へ送れない」と言われました。行き場を失った男は暗闇を彷徨うことになり、最後のお願いとして悪魔に地獄の炎の小さな塊をもらいました。この火が消えてはいけな

いとたまたま道に落ちていたカブをくりぬいてランタンにしたそう…この話からジャック・オ・ランタンが生まれました。え、カボチャがないって？いや、もともとはカブなのです。アメリカでカボチャへと変換されました。ハロウィンの帰り道にはお気お付けくださいませ。

「ハロウィンの起源とは？「ジャック・オ・ランタン」の誕生秘話」 <https://nazology.net/archives/116883>